

令和7年度職業能力開発論文コンクール 厚生労働大臣賞受賞

令和7年11月18日（火）、明治記念会館にて「令和7年度職業能力開発関係表彰式」が開催されました。この表彰式において、職業能力開発論文コンクールで全国から応募のあった59作品の中から、当機構の職業訓練指導員 隅元 康一（栃木職業能力開発促進センター）が、厚生労働大臣賞（特選）を受賞しました。



神谷厚生労働大臣政務官から賞状を授与される隅元指導員

当機構 姫野理事と入賞者との集合写真

職業能力開発論文コンクールは、職業能力開発等に関する優秀な論文を選定し、広く関係者等へ周知することで、職業能力開発関係者の意識の啓発を図り、職業能力開発の推進と向上に資することを目的としています。令和7年度で第33回（隔年開催）を迎える、歴史あるコンクールです。

今回のコンクールでは、隅元指導員の論文を含む4作品が入選し、当機構の職業能力開発に対する取り組みが高く評価されたものと思います。

【当機構職員における受賞者一覧】

厚生労働大臣賞（特選）

- 「CAD/CAMおよび三次元測定機を活用した実習教材における訓練効果の検証」
隅元 康一（栃木職業能力開発促進センター）

厚生労働大臣賞（入選）

- 「自己調整学習を活用したRC柱実験教育システムの開発と効果の検証」
雨森 瑞宜（関東職業能力開発大学校）

特別賞（（独）高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長賞）

- 「鉄工やすりによる平面仕上げ技能体得支援システムの訓練効果
—3年間の実践データに基づく長期的な有効性検証—」
高木 勝規・千崎 貴大（四国職業能力開発大学校）、木村 寛路（北海道職業能力開発大学校）
- 「学卒者訓練に向けた鉄筋コンクリート構造基礎躯体モデル・1階躯体モデルの開発と
実習での展開方法について」佐竹 重則（関東職業能力開発大学校）

今後、当機構の職業能力開発総合大学校 基盤整備センターのHPにて受賞論文を公開する予定です。